河川水質の改善事例について

|見出川: E類型(H48 年~) 、環境基準 10 mg/L

- ○平成16年度から平成近27年度のBOD環境基準の達成状況は、下表のとおり平成19年度までは 未達成が続き、平成19年度は環境省が公表する全国水質ワースト1となった。その後は、平成 20年度から平成24年度に連続で達成し、平成25年度に未達成となったものの、再び平成26年 度は達成している。
- ○水質ワーストにランクインしたことなどから、流域の規制対象事業場への指導の徹底とともに、 特に負荷が大きい事業場(未規制・小規模)に対する対策指導、地元の関係団体等からなる協議 会による水質保全活動や広報活動等の取組みを進めてきた。
- 〇また、水質の常時監視については、年 12 回の調査に加え平成 21 年度から、汚染原因の推定や効果的な水質保全対策の実施に資するよう年 1 回の通日測定(2 時間おきに採水)を実施してきた。
- 〇近年、BOD年平均値は改善傾向にあり、平成 27 年度 (速報値) はこれまでの最小値 (6.5 mg/L) となった。

表 見出川(見出橋)におけるBOD濃度の推移

(mg/L)

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27*
75%値	11	12	13	13	8.7	8.4	9.3	8.0	8. 4	12	8.8	7.4
平均値	9. 9	12	12	12	8. 7	7. 2	8. 5	7.8	7. 4	10	7. 9	6.5

太字 環境基準を達成せず

*速報値

|飛鳥川: C類型 (H15 新規指定)、環境基準 5 mg/L

- ○平成16年度から平成27年度のBOD環境基準の達成状況は、下表のとおり平成23年度を除いて、 平成26年度まで未達成が続いた。また、年平均値は平成25年度にこれまでの最高値(15 mg/L) となり、全国水質ワースト1となった。
- ○周辺事業場や水路の調査を行ったところ、環境基準未達成の主な要因を特定し、高濃度の排水を 排出する未規制事業者に対し改善策の実施を要請した。その結果、当該事業場で改善が図られた。
- ○また、水質の常時監視については、年12回の調査に加え、対策の効果を確認するため平成27年度から年1回の通日測定を開始した。
- ○平成 27 年度(速報値)のBOD年平均値は、これまでの最小値(2.9mg/L)であった平成 23 年度に次いで小さい値(3.5 mg/L)となった。

表 飛鳥川(円明橋)におけるBOD濃度の推移

(mg/L)

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27*
75%値	5. 1	12	6. 3	7. 6	5. 1	5. 7	6. 9	3. 2	5. 5	5. 6	11	4.6
平均值	4. 1	6.8	5. 7	5.8	4.2	4.5	5. 6	2.9	5. 7	15	6.8	3.5

太 字 環境基準を達成せず

*凍報値